

のぎた たかはる  
野北 孝治 たより

No.23

豊田自動織機労働組合  
TEL: 0566 (24) 5848

## ごあいさつ

いつもお世話になっております。大府市議会議員の野北孝治です。  
令和6年9月議会が8月28日～9月30日の34日間で開催されました。  
追加議案となる補正予算につきましては、災害対策も盛り込まれています。

令和5年度の決算認定では、令和5年度に行われた事業の内容が市民の安心・安全に貢献できていたか、満足度・サービスの向上に繋がったものになっているか、また効率的で効果的な内容となっていたかを民間企業出身の議員として確認いたしました。

9月議会での主な内容等をご報告させていただきます。



大府市議会議員  
野北 孝治

## 9月議会\_議案内容(抜粋)

議案審議：条例3件、補正予算4件、決算5件、人事1件、その他3件、計16件を審議

## ・大府市使用料条例の一部改正について

(内容) ・受益者負担の適正化を図るため、公共施設の使用料を改定するもの

- ・(例) 学校開放施設(体育館) 1,770円⇒1,860円、同施設空調機利用: 16,060円⇒17,020円
- ・勤労文化会館について、宿泊室等の改修に伴い使用料を改定するとともに、女性活躍企業等及び健康経営優良法人に対する使用料の優遇措置を新設

(施行期日) 令和7年4月1日

## ・大府市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部改正について

(内容) ・指定障害者支援施設に対し、利用者の希望に沿った地域生活への移行に向けた措置を講じるとともに、当該施設以外における指定障害福祉サービス等の利用について、利用者の意向を確認し必要な援助を行うことを義務付けるもの

(施行期日) 公布の日

## ・指定管理者の指定について

(内容) ・公の施設の名称 長草デイサービスセンター

- ・指定の相手方 大府市森岡町一丁目30番地 特定非営利活動法人ネットワーク大府  
理事長 矢澤 久子

- ・指定の期間 令和7年4月1日から令和12年3月31日まで

## ・補正予算について

水道受水槽への非常用給水栓の設置

内容/対規模災害や停電時の飲料水確保のため受水槽に

応急給水用の蛇口の取り付け

設置場所/大府小学校、共長小学校

補正予算額/1,224,000円

設置時期/令和6年10月頃

災害対策整備事業(愛三文化会館を公設の福祉避難所として活用するための備品整備)

購入備品/個室として使用できるテント型シェルター(12個)

LED投光器(3基) LEDライト(35個)

停電時に使用するポータブル蓄電池(2台) 移動系無線機(1台)

補正予算額/2,011,000円

令和7年4月から運用開始



※裏面に続く

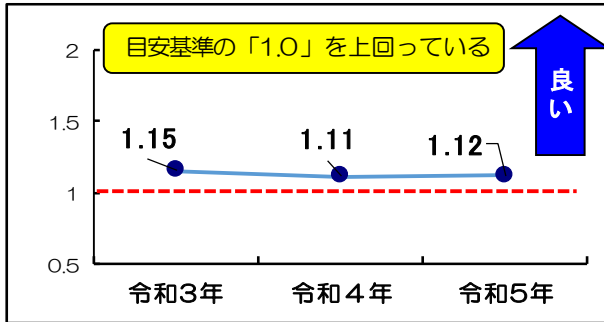
## 9月議会\_議案内容(抜粋)

### ・令和5年度決算認定について

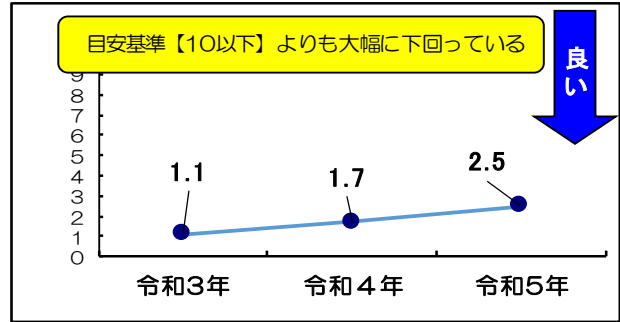
#### 令和5年度大府市決算審査 <決算に関する指標>

財政力指数	1.12	「1」以上は財政が豊か
公債費比率(借金)	2.5%	「10」以下が望ましい
経常収支比率(経費)	83.6%	「80」以下が望ましい
実質収支比率(余裕資金)	7.9%	「3~5」が望ましい(高いほど余裕)

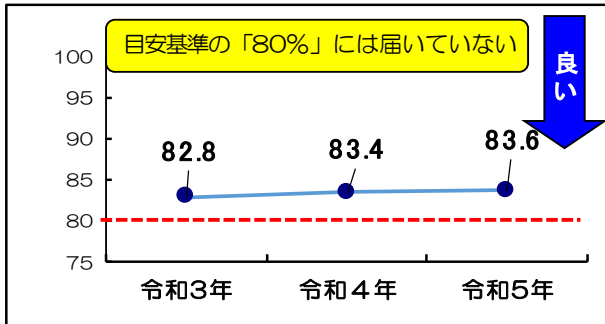
<財政力指数：R3年～R5年>



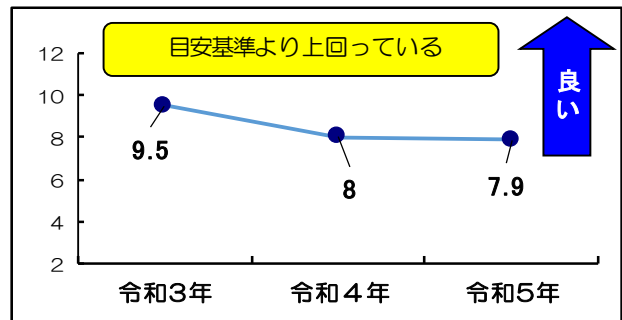
<公債費比率(借金)：R3年～R5年>



<経常収支比率(経費)：R3年～R5年>



<実質収支比率(余裕資金)：R3年～R5年>



## トピックス

### ・「認知症ヘルプマーク」を制作

大府市は、認知症の方がまちをひとりで歩いている時やひとりで困っている時に、見守りや援助を受けやすくなるよう、当事者が身につける「認知症ヘルプマーク」のデザインを公募し選定しました。市民や地域組織、事業者や関係機関と連携して、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを進めています。

「認知症ヘルプマーク」が、大府市をはじめ、全国で使用され、認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守ることができる共生社会実現の一助となることを期待しています。

配布開始日／令和6年9月下旬(予定)

配布場所・申込／市役所高齢障がい支援課(大府市中央町5-70)

配布対象／認知症や認知症の疑いがある人

その他／市が使用を認めた他の自治体などにもデザインを提供します。

提供希望の自治体などは、高齢障がい支援課へ。

【デザイン作者コメント】このデザインは、手を差し伸べる様子を抽象的に表現しています。黄色が認知症の人、白色が手を差し伸べている地域などのまちの人を表しています。不安や戸惑いから、黄色のシグナルが出ている認知症の人に手を差し伸べ、差し伸べられた人が明るく幸せになって欲しいという想いを込めました。また、遠くからこのマークを見た際に、ニコっとした笑顔に見えるようにデザインしています。



その他、議会での議案等の審議結果については、大府市公式ウェブサイトに掲載しています。参照ください。

今後も住みやすいいいまち『おおぶ』の実現に向け、市民の目線で現地現物を大切に活動してまいりますので引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

野北 孝治 相談室(長草工場内)  
(直通) 0562-48-9304  
(メール) nogita@tiwu.or.jp